(19)日本国特許庁 (JP)

# (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

## 特開平8-76706

(43)公開日 平成8年(1996)3月22日

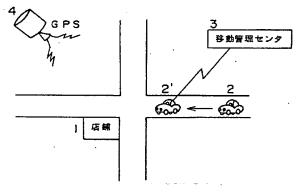
G09F 19/00 H04B 7/26	識別記号 庁内整理番号 A	ΡΊ		技術表示箇所
110 4 25 1720		H 0 4 B	7/ 26	Ε .
		審査請求	未請求 請求項の数2	FD (全 5 頁)
(21)出願番号 **	<b>特顧平6-238657</b>	(71)出顧人	000004226 日本電信電話株式会社	
(22)出顧日 互	平成6年(1994)9月7日		東京都新宿区西新宿三丁	目19番2号
		(72)発明者		
			東京都千代田区内幸町- 本電信電話株式会社内	-丁目1番6号 日
		(72)発明者	塚田 晴史	
	*		東京都千代田区内幸町-本電信電話株式会社内	一丁目1番6号 日
		(72)発明者	岸田 克己	
	·		東京都千代田区内幸町一本電信電話株式会社内	丁目1番6号 日
·		(74)代理人		
				最終頁に続く

#### (54) 【発明の名称】 電子広告方法及び装置

#### (57)【要約】

【目的】 店舗の近傍の移動体に対してのみ無線で広告 情報を送信することを目的とする。

【構成】 広告発信原から移動体に対して広告情報を伝達する電子広告において、前記移動体の位置を検出し、検出された位置情報を用いて、前記広告発信源に対し所定の距離以内にある移動体の識別番号を検出し、当該移動体に対し前記広告発信源から識別番号にもとづいて広告情報を無線で発信し、当該移動体はその広告情報を受信し、広告発信源から所定の距離以内の移動体に対してのみ広告情報を送信する。



本発明によるシステムの概要構成

#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 広告発信源から移動体に対して広告情報 を伝達する電子広告方法において、

前記移動体の位置を検出し、

検出された位置情報を用いて、前記広告発信源に対し所 定の距離以内にある移動体の識別番号を検出し、

当該移動体に対し前記広告発信源から識別番号にもとづ いて広告情報を無線で発信し、

当該移動体はその広告情報を受信し、

告情報を送信することを特徴とする電子広告方法。

【請求項2】 公衆通信網に接続され、無線により移動 体に広告を発信する広告発信源と、

無線により前記公衆通信網に接続され、識別番号を有す る移動体と、

該移動体の位置を検出する位置検出手段と、

位置検出手段により検出された移動体の位置を当該移動 体からの送信により収集する移動管理センタとを有し、 該移動管理センタが、広告発信源に対し所定の距離以内 にある移動体を当該広告発信源に通知することにより、 当該広告発信源は当該移動体の識別番号にもとづいて当 該移動体に広告情報を送信することを特徴とする電子広 告装置。

#### 【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、広告発信源、例えば、 店舗から、該店舗に向かって近づきつつある、移動体に 対して、情報を送信する方法に関する。本発明は、例え ば、携帯端末を所持して店の前を通りかかる人や、道路 に沿って店に近づく車に対して、店の広告情報を送信す る場合に適用することができる。

[0002]

【従来の技術】従来、通信による広告情報の伝達方法 は、客のほうから店に問い合わせるか、店からは移動体 の位置に関係なく電話番号か個人番号を指定する方法が 行われている。

【0003】従って、広告を送って効果的な相手、即 ち、店の近くにいる移動体、さらに店に近づきつつある 移動体のみに対して、店から通信を行うことができなか った。

[0004]

【発明が解決しようとする課題】本発明の目的は、上記 従来の問題点を解決し、店に近づきつつある移動体を検 出し、店から該移動体に対して電子広告を送信する方法 を提供することにある。

[0005]

【課題を解決するための手段】前記目的を達成するため の本発明の特徴は、広告発信原から移動体に対して広告 情報を伝達する電子広告方法において、前記移動体の位 置を検出し、検出された位置情報を用いて、前記広告発 50

信源に対し所定の距離内にある移動体の識別番号を検出 し、当該移動体に対し前配広告発信源から識別番号にも とづいて広告情報を無線で発信し、当該移動体はその広 告情報を受信し、広告発信源から所定の距離以内の移動 体に対してのみ広告情報を送信する電子広告方法にあ

る。なお、ここで広告とは、宣伝、販売のための広告ば かりでなく、一般の情報伝達を意味するものとする。 [0006]

【作用】本発明は、店舗から電子的に広告情報を発信す 広告発信源から所定の距離以内の移動体に対してのみ広 10 る電子広告サービスにおいて、店舗に近づきつつある移 動体を、その位置情報の変化と、移動経路(道路)情報 とから検出する手段を用いて、そのID(電話番号)を 知り、該移動体に対してのみ電子広告を行うことで、よ り有効に広告を行う。

> 【0007】移動体の位置情報を定期的に収集すること で、移動体の移動方向を求めることができる。移動体の 位置および移動方向と、道路地図情報とから、移動経路 を求めることができる。移動経路と店舗の位置情報とか ら、店舗に近づきつつある移動体およびその通信 I Dを 20 知ることができる。店舗に近づきつつある移動体にの み、電子広告を送信することで、効果的な宣伝を行うこ とが可能となる。

[0008]

【実施例】図1は一実施例におけるシステムの概要構成 である。1は広告発信を行う店舗、2は広告受信可能な 移動体(モードによって受信拒否も可能)、3は移動管 理センタ、4はGPSなどの位置検出用インフラであ る。

【0009】図6は実施例における詳細なシステム構成 である。図6において、1は店舗で、通信装置と電子広 告発信装置とを持つ。2は移動体で、位置検出装置と、 電子広告受信装置(受信可/不可のモードを持つ)、移 動体通信装置とを持つ。3は移動管理センタで、店舗デ ータベース、移動体管理データベース、接近移動体検出 装置、通信装置とを持つ。

【0010】ガソリンスタンド広告の例で、サービスの 概要を説明する。

【0011】移動体から見たサービスの概要は次のよう になる。

40 【0012】(1)各移動体は、これからガソリンスタ ンドで給油を行いたいとき、移動体の広告受信装置を広 告受信モードに設定する(10)。

(2) その移動体の進行経路方向にある複数のガソリン スタンドから、移動体通信を用いて電子広告情報がその 移動体に対して送られる。

(3)移動体の使用者は、条件に合うガソリンスタンド を選択し、広告情報に従って、進入停止し、サービスを 受ける。

【0013】図4と図5によりシステムの動作の流れを 説明する。

【0014】図4は、移動体・移動管理センタ・店舗の 動作および間でやりとりする情報の流れを示したもので ある。

【0015】図5は、図4で示した各情報の詳細な内容を記述したものである。

- 【0016】(1)各広告発信店舗1は、自己位置と店舗種別と広告対象範囲(エリア指定、方向指定、車種指定)を3の移動管理センタに登録しておく(12)。
- (2)各移動体2は、使用者の設定により広告受信モード(10)になると、移動管理センタ3に自己ID(電 10 話番号)を登録する。なお、受信モードを終了した場合は登録を抹消される。
- (3)広告受信モードの各移動体2は、定期的に4を用いて自己位置を検出し(16)、移動管理センタ3に該位置情報を送信する。
- (4)移動管理センタ3は登録された移動体ごとに位置の変化を検出し、現在エリア、進行経路(道路)と進行方向を検出する。この時、道路の曲がり具合により、位置座標的に遠ざかっていても、近づいていると見なすこともある(図2)。
- (5)移動管理センタ3は(4)で得た情報を道路およびエリアごとに分類して移動体電話番号と共にテーブルに管理する(図3)。
- (6)移動管理センタ3は(1)で指定された条件に合\*

- \* 致する接近移動体の I D情報 (電話番号、車種など)を 該当する登録店舗 1 に通知する。
  - (7)登録店舗 1 は自己店舗に近づきつつある移動体 2 に対して、(6)で得た I Dを用いて発信し、電子広告情報(店舗名、価格、サービス特徴、ナビゲーション地図情報など)を伝送する。

[0017]

【発明の効果】以上説明したとおり、本発明は店舗の近 傍の移動体に対してのみ電子広告を送信するので、効果 的な宣伝を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

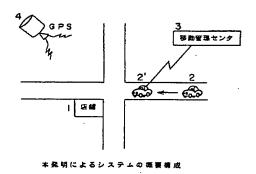
[図1]本発明の実施例によるシステムの概要構成を示す。

- 【図2】位置座標と道路の曲がりの関係を示す。
- 【図3】移動管理センタの管理情報を示す。
- 【図4】本発明の動作の流れを示す。
- 【図5】各情報の詳細な内容を示す。
- 【図6】本発明によるシステム構成を示す。

【符号の説明】

- 20 1 店舗
  - 2 移動体
  - 3 移動管理センタ
  - 4 位置検出手段

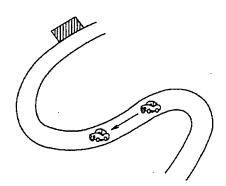
【図1】



[図3]

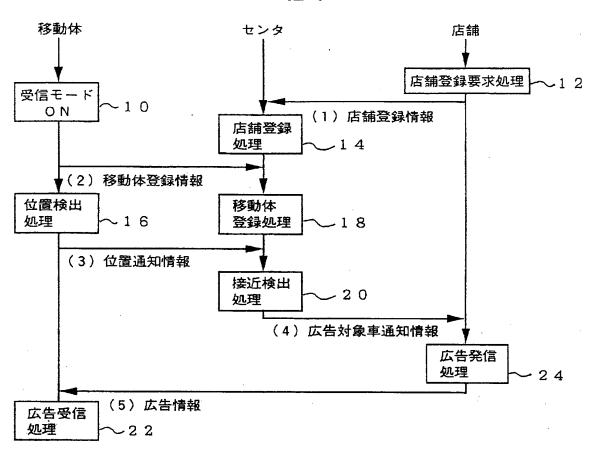
134 <del>号線</del> 横須賀エリア 上リ	134号線 検須賀エリア 下り	
123-4567	321-7654	
987-6543	789-3456	

[図2]

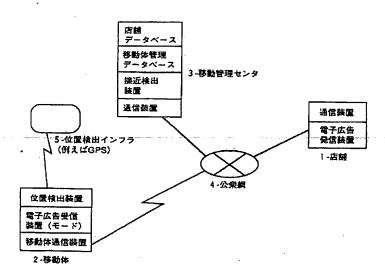


道路マップ情報を用いることで座標的に遠さ かっていても近づいているとみたす時

[図4]



【図6】



【図5】

### (1)店舗登録情報

# 緯度・経度 店舗種別(ファミリレストラン) 電話番号 対象エリア指定 134号線機須賀エリア

対象車種指定 自家用車、トラック 上り線のみ

### (2)移動体登録情報

緯度・経度
車両情報(車種、人数)
電話番号
対象業種 レストラン

### (3) 通知位置情報

緯度・経度 電話番号

### (4) 広告対象車通知情報

電話番号 車両情報 車種・人数 緯度・経度 エリア情報

### (5) 広告情報

店舗名
分類 (レストラン)
サービスメニュー
ナビゲーション 情報

フロントページの続き

(72)発明者 酒井 和男

東京都千代田区内幸町一丁目1番6号 日本電信電話株式会社内